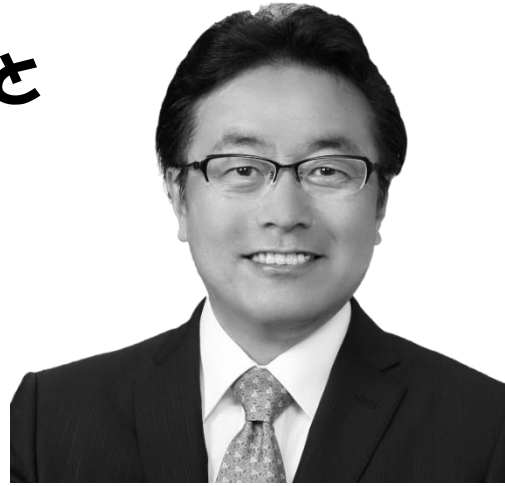


ほんたに宏行と

明日の府中をつくる会



ほんちゃん新聞

第6号

あなたは 14501 番目の読者です

*前号までにお届けした枚数です

平成 29 年度 9 月議会の報告

副市長を置かない条例・議員定数削減改正案、いずれも否決

本会議は 9 月 4 日に開会。「平成 28 年度府中市一般会計歳入歳出決算認定」など議案 22 件、議員提出意見書案 1 件「教職員定数の改善を求める意見書の提出」、請願 1 件「精神障害者に重度心身障害者医療費公費負担制度の適用を求める請願書」を審議しました。

市長が最終日に追加上程した「副市長を置かない条例案」と「議員定数を削減する条例改正案」2 件は全会一致で否決（下記に詳細）、その他の議案は可決・認定されました。

*詳細は 11 月 1 日発行の「議会だより No.86」をご覧ください。

○府中市に副市長を置かない条例の制定について（全員反対により否決）

*提案理由：不在となっている副市長について、当分の間、選任する予定がないため

【反対討論 要旨】

創生会：最終日の唐突な提案では議論できない。条例に抵触するので条例の方を変えるというのは、自分の力不足を正当化するために過ぎず、市民のメリットになる条例変更とは思えない。

公明党：現状に合わせるために条例を改変するというのは姑息な手段である。業務遂行やこれからの府中市のプランへの影響が多大である現実を直視され、副市長選任に努力されるべき。

市民クラブ：議員定数削減と同時提案で、問責決議への「意趣返し」であり、市長も副市長人事を「政争の具」として利用している。

日本共産党：国・県の交渉事でも、近隣の市・町との交流でも副市長の任務は大きい。

【賛成討論】 なし

○府中市議会議員定数条例の一部改正について（全員反対により否決）

*提案理由：府中市議会議員の定数を減らし、18人とするため

【反対討論 要旨】

創生会：①二元代表制である自治体の行政、議会の役割は増大しており、市長が一方向的に行政のチェック機能を弱める行為を行ってはならない。

公明党：市民の不利益にならないよう改選後に丁寧な議論をすべき。市長から唐突に出された今回の議案は、内容よりも市民受けをねらった②ポピュリズムを感じる。

市民クラブ：削減すればあらゆる地域、階層から代表が選出されにくくなる。定数削減を政争の具としてはならない。

日本共産党：定数削減するだけでは、議会改革とは言えない。

【賛成討論】 なし

用語解説：①二元代表制=住民が直接選挙で首長と議員を別々に選ぶ制度。首長は議案を議会に出したり人事を決めたりする権限を持ち、議会は議案の議決などで首長の行政運営を監視する。②ポピュリズム=大衆迎合主義（受け狙い）

平成 29 年 9 月議会 本谷一般質問（主なもの）

小中学校のエアコン設置を前向きに検討！

Q：国は、夏期の教室内温度は「25℃～28℃程度」が最も学習に望ましいとしている。市内小中学校の室内温度、エアコン設置率と導入に必要な予算はいくらか。また、今後の学校施設改修計画にエアコンを盛り込み具体的な対策を行うべきでは。

A：地域差はあるが、7月の各校平均温度は29.1℃～32.2℃と高い数値となっている。設置率は18.4%（全国：49.6%、広島県：45.2%）、総事業費は概算で4億円程度かかる。昨年度から老朽化したトイレ改修を旭小と南小で行い、来年度は栗生小に取り掛かる。エアコンは財政的な課題もあるが、国の有利な交付金などを活用して学校改修計画に反映したい。

議員 活動報告

ふちゅう大学誘致の会
府中市の大学誘致基本構想と共に国
に働き替えるための賛同署名数

15,215

ご協力ありがとうございました



経産省 産業機械課長片岡氏・ロボット政策室荒畑氏とヒロボー(株)にて産業用無人ヘリコプターの説明を受けました

◆ 主な議会役職 ◆

平成 26 年 府中市議会議員 初当選
厚生常任委員会 副委員長
議会だより編集委員会 委員長
平成 28 年度 厚生常任委員会 委員長
府中市健康地域づくり審議会委員
国民健康保険運営協議会委員
広報広聴特別委員会委員

ほんたに宏行と明日の府中をつくる会

ほんたにひろゆき
代表 本谷宏行

〒726-0003 広島県府中市元町 544-1

TEL 0847-44-6660

携帯 090-1354-9356

E-mail hontanihiroyuki@yahoo.co.jp